

# サンタさんありがとう

## —保育園でクリスマス—



プレゼントに園児もうれしそ



大きなプレゼントの袋を重そうに、十二月二十四日、保育園にサンタクロースがやってきました。園児の「ありがとう」の声にサンタさんもうれしそう。又、クリスマスパーティーでは、保母さんの劇を見ながら、おいしいケーキを食べ、紅茶をのみながら楽しい一日を過ごしました。

# 川や湖を美しく

## 有リン合成洗剤の使用はやめましょう

有リン合成洗剤とは、洗濯用粉末合成洗剤で、リン酸塩(P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>)を数%から10%程度含むものをいいます。この洗剤中のリンは、洗濯排水とともに川や湖に流れ込みます。水の交換が悪い水域に大量のリンが流れ込むと、富栄養化を起し、川や湖などの水が栄養過剰となって、プランクトンや植物が異常に発生しやすくなり、そのために、悪臭が発生したり、魚が死ぬなど

の事態に至ることがあります。現在は、無リンの合成洗剤や、粉石ケンが広く流通しています。品質表示をよく見てこれらのものを使用してください。これにより川や湖などの富栄養化を防止し、水質の保全を図ることができます。

どんな種類の洗剤でも、これが川や湖に流れ込むことによって水を汚すこととなります。洗剤には、適正な使用量というものが定まっています。製品容器の表示をよく見て、標準使用量の範囲内で使用してください。目分量で量をきめると使いすぎの原因になりますので計量カップなどで計って使用してください。これにより、洗剤による川や湖の有機性汚濁を防止し、水質の保全を図ることができます。

# 感謝献血に34名

新年間もない去る七日、豪雪の中「ゆうあい号」の来村では皆様方よりご協力をいただきありがとうございます。結果は次のとおりとなりました。

- 献血者数
- 大別当 4名、月 濁 11名
- 西置場 2名、上曲通 1名
- 東長島 1名、木 滑 3名
- 釣 寄 1名、釣寄新 1名

# 血液型別採血数

- A型 12名、O型 11名
  - B型 7名、AB型 2名
- 今回三十四名の方から協力を得ましたが、採血できなかった方は二名で、献血十回で日赤の◎を受けられた方は高木文男さんでした。
- 又、献血に協力いただいた高校生は、金子陽子さん、後藤まゆみさん、藤原信一さん、丹波幸也さんの四名でした。

役場 9名、その他 1名

洗剤の使用は適正量を守って

豪雪の中御苦労です



# 国保だより

## お医者さんにかかるとき 保険証は受付窓口へ

昨年、十月から国民健康保険(国保)に退職者医療制度ができました。この制度は本格的な高齢化社会に備え、給付の平等と負担の公平化の考えのもとで創設されました。長年、会社等に勤め退職して、国保に加入し、被用者年金を受給し、七十歳になって老人保健制度に移るまでの間退職者医療制度で診療を受けることとなります。この制度は創設されてから

日が浅いために、従来のまま一般国保で処理されるケースが多くあって、医療機関や関係機関はまだ事務がスムーズにゆきません。それで、お医者さんにかかるときは、かならず保険証を医療機関の受付窓口へ提出するようにいたしましょう。退職者医療制度に加入されている人は保険証といっしょに「証明書」を提出下さい。

# 香典返しを頂戴

月瀧村議会副議長、星野与一郎さんから、去る十二月十七日亡くなられた父徳蔵さんの香典返しとして十万円いただきました。ご厚志を有効に活用させていただきます。ありがとうございます。



保険証は必ず持参しましょう。

# 郷里の生んだ天才 栗原信秀を称える

月瀧 登石 清

絶世の天才大名人栗原謙司信秀大人は、百七十年前が月瀧村に生を享けられた。生誕百七十年を記念し「信秀展」が新潟市で開催され、その計画に感激した月瀧村議会議員金子賢太郎さんが「刀匠栗原謙司信秀之碑」を月瀧白山神社に建立。去る十月二十五日除幕祭典が行われた。私も協賛者の一人として参列したが、感銘深く左に信秀大人の顕彰文を掲げます。

# 顕彰文

近世における作刀の名手であり、鏡の製作、彫刻の名人として知られた、栗原謙司信秀は、月瀧村に文化十二年に生を享け、名は健次といつたが後に謙司と改めた。幼くして三条の鍛冶小山小左エ門の弟子となって鉄造りの業を修め、十五才のとき京都に上って鏡の製作や彫刻の技を身につけた。

「すべて刀は製鉄の当初から細心の注意が必要だ、粗雑な既成鋼を用いてよい刀を仕上げようとすれば、木に上って魚を求める類だ」との信念にて作刀にあたった。縁あって当時有名な刀匠、源清磨の門に入り刻苦精勤して高弟となり、門人に尊敬された。特に刀剣の彫刻に勝れ、近世の名手として知られ、竜不動、文字、人物等独自の創案による奇抜な意匠のものが多く、好んで神典にある天細女命(あめのうずらのみこと)の歌舞姿や、須佐之命のおろち退治の光景、又は万葉の和歌を彫刻したのは、当時幕末京都を中心におこった復古精神、尊皇絶対思想に強く影響された結果であろう。

明治七年三条に帰り、翌八年加茂の青海神社の神鏡、九年には三条八幡宮の神鏡、十年には越後一の宮彦彦神社の神鏡並びに剣を奉獻されたが、何れも優れた作品と称されている。清貧にこだわらず、専ら技術の向上と、尊皇絶対思想に徹し、明治十三年六十六才にして三条に永眠されたのである。数百年に一人出現するといふ天才大名人栗原信秀大人を生んだ月瀧村白山神社境内に碑が建立されたことに感謝し、謹んで顕彰文を掲げる次第です。